

1 主な年齢の平均余命

平成27年簡易生命表によると、男の平均寿命は80.79年、女の平均寿命は87.05年となり前年と比較して男は0.29年、女は0.22年上回っている。平均寿命の男女差は、6.26年で前年より0.07年減少している。また、主な年齢の平均余命をみると、男女とも全年齢で前年を上回っている。（表1、表2）

平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女とも悪性新生物及び心疾患（高血圧性を除く、以下同じ）などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす方向に働いている（図1）。

表1 主な年齢の平均余命

(単位：年)

年齢	男			女		
	平成27年	平成26年	前年との差	平成27年	平成26年	前年との差
0歳	80.79	80.50	0.29	87.05	86.83	0.22
5	76.02	75.74	0.28	82.27	82.07	0.20
10	71.05	70.77	0.28	77.30	77.09	0.21
15	66.08	65.81	0.27	72.32	72.12	0.20
20	61.17	60.90	0.27	67.37	67.16	0.21
25	56.31	56.05	0.26	62.43	62.23	0.20
30	51.46	51.21	0.25	57.51	57.32	0.19
35	46.62	46.38	0.24	52.61	52.42	0.19
40	41.80	41.57	0.23	47.73	47.55	0.18
45	37.05	36.82	0.23	42.90	42.72	0.18
50	32.39	32.18	0.21	38.13	37.96	0.17
55	27.89	27.68	0.21	33.45	33.28	0.17
60	23.55	23.36	0.19	28.83	28.68	0.15
65	19.46	19.29	0.17	24.31	24.18	0.13
70	15.64	15.49	0.15	19.92	19.81	0.11
75	12.09	11.94	0.15	15.71	15.60	0.11
80	8.89	8.79	0.10	11.79	11.71	0.08
85	6.31	6.24	0.07	8.40	8.35	0.05
90	4.38	4.35	0.03	5.70	5.66	0.04

表2 平均寿命の年次推移

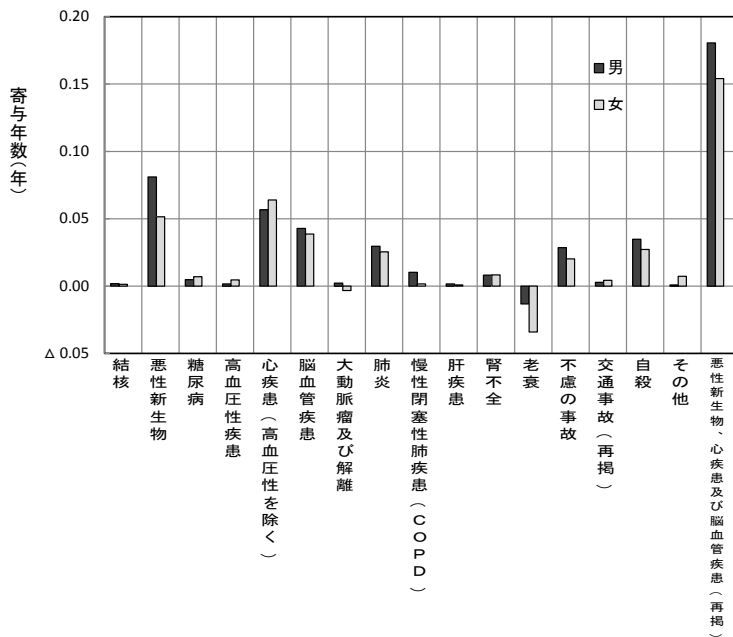
(単位：年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
22	79.55	86.30	6.75
23	79.44	85.90	6.46
24	79.94	86.41	6.47
25	80.21	86.61	6.40
26	80.50	86.83	6.33
27	80.79	87.05	6.26

注:1) 平成22年以前は完全生命表による。

2) 昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数(平成27年)



[寄与年数] (単位：年)

死因	男	女
計(前年との差)	0.29	0.22
結核	0.00	0.00
悪性新生物	0.08	0.05
糖尿病	0.00	0.01
高血圧性疾患	0.00	0.00
心疾患(高血圧性を除く)	0.06	0.06
脳血管疾患	0.04	0.04
大動脈瘤及び解離	0.00	△0.00
肺炎	0.03	0.03
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.01	0.00
肝疾患	0.00	0.00
腎不全	0.01	0.01
老衰	△0.01	△0.03
不慮の事故	0.03	0.02
交通事故(再掲)	0.00	0.00
自殺	0.03	0.03
その他	0.00	0.01
悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患(再掲)	0.18	0.15

注：交通事故は、不慮の事故の再掲である。